

ウッディチキン／石川県金沢市

『SUMMER COLLEGE 2019』

『例会レポート 143 前半』

日 程	2019 年 8 月 21 日(水)～22 日(木)
会 場	いしかわ総合スポーツセンター 第一会議室 石川県金沢市稚日野町北 222
参加者数	約 74 名
講演会内容	テーマ「風土づくり・国際交流・超スピード時代」 廣瀬 元氏 金城大学准教授 伊藤 豊氏 ウッディチキン代表・ラポットカンパニー代表 山田 和夫氏 NPO 法人 YOU-I 代表理事 久保 華図八氏 BAGZY 代表 北田 礼次氏 Re-office 代表
宿泊	リラックススパーク テルメ金沢 石川県金沢市松島町 17 TEL 076-269-2211



ウッディチキン事務局

文章・写真提供／向井 健介

前回会場をお借りした金城大学がオープンキャンパスで使えないということで急遽決まった会場、いしかわ総合スポーツセンターに 75 名の仲間が集まりました。あいにく天候は雨が降ったりやんだりでしたが、会場の設備もよく宿泊会場のアクセスも良く良きサマーカレッジとなりました。

今回のテーマは「**風土づくり・国際交流・超スピード時代**」

2日間通してこのテーマで講演していただきました。

一貫してとても分かりやすいなと感じました。

司会は、今回も北陸ウッディ代表ヨークの横関さんでした。

いつも段取りありがとうございます。

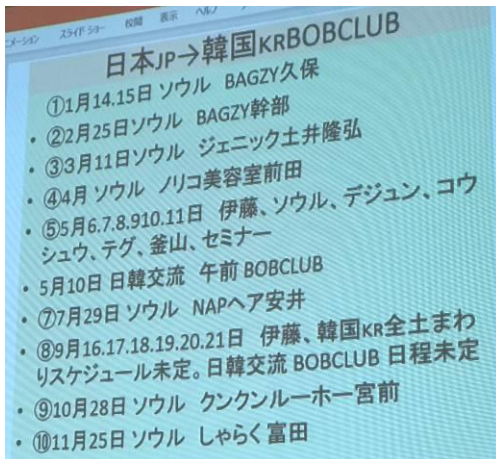


伊藤代表近況報告

・2019 年も、7 月までのウッディの活動が順調に進んでいます。

平行して、韓国との交流も国境を越えたつながりで良き関係が続いています。

もしかしたら、11 月の沖縄にも参加されるかもしれません。



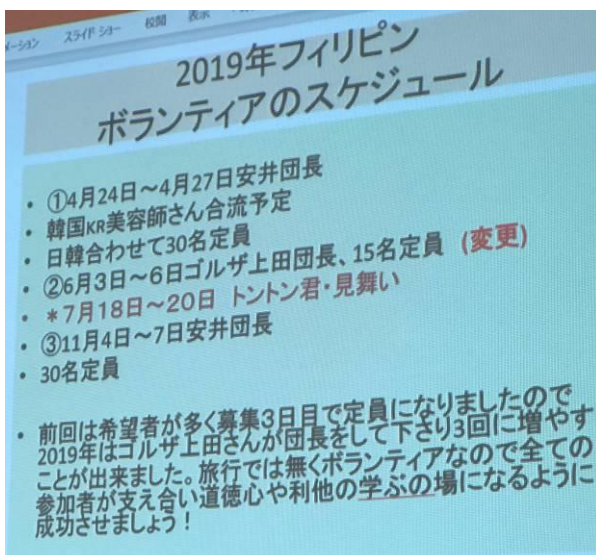
・フィリピンの活動は今年で 5 年目となりました。

今まで 7 名の命を救うことができました。これも全国の皆さんの募金や現地でのサポートおかげです。

11 月は参加者が多く、2 回に分けて実施します。

①11 月 4 日～7 日 団長上田さん

②11 月 18 日～21 日 団長安井さん



セミナー1 金城大学准教授 廣瀬 元氏

テーマ「これからの時代が求めるダンス×□□□」

プロフィール

金城大学で教員として勤務する傍ら、ダンス活動を通じ同大学でダンス部を創立、部員は百名を越え、自主公演も行っている。石川県 大学ダンス連盟を立ち上げ、現在もその顧問を務め舞台における振り付けや脚本制作、演出、またワークショップを中心に若手ダンサー の育成に力をいれている。教育面においてもダンス必須化に伴い、文部科学省の後援事業として全国各地で研修活動を行っている。

自己紹介(おいたち)

1972年1月19日 横浜生まれ

父の転勤で、2年おきぐらいに住まいが変わっていた。

中学から高校までの青春時代は、石川県金沢市だから出身はと聞かれると金沢。と言っている。

床屋で角刈り&そり込みをしていたが、

ビーバップハイスクールの影響を受けて

リーゼントパーマにしようと美容室に行ったとき

サムソン&デリラ(松村さん)と出逢った。当時17歳。

大学生活は東京で頑張っていた。

この時ストリートダンスと出会う。18歳

がむしゃらに踊り続けた4年間。

卒業後研究活動のため渡米。22歳

人工心臓の研究・・・ 3年間ダンスはせずに勉強と研究に打ち込んだ。

でもなかなか続かず、やめてしまう。結局何も成果です・・・

まだダンスに戻り、NY やブロードウェイで刺激をもらってさらにダンスモードになる。



いったん帰国する。24歳

金沢で、先輩と共同でクラブ経営(ディスコ)をした。

昼間は、人口研究の経験を活かして大学で非常勤講師のバイトも併用でしていた。

夜のクラブ経営は、途中うまくいかず昼間の大学での仕事が増えていった・・・

27歳1999年4月

金沢大学就職そしてダンス部創部！今年で20周年

10 数名からスタート

全盛期 100 名を超える数になった。

県内の色んな企業に出向いてダンスの講演会を行った。

2008年に石川県大学ダンス連盟創立した。今年で10周年

10大学で300名を超えるメンバーで活動するようになった。

2012年「ヒップホップが学校にやってきた！」

学習指導要領改訂

中学校でダンス必須化、文部科学省後援事業スタート。

日本全国の教員に、ダンサーが指導を始める。ダンス教育との出会いだった。
全国各地に講師として全国を回っていた。
各地で温泉に行くようになって、とうとう温泉ソムリエの資格まで取ってドはまりしていった。
今では温泉分析表を見るだけで、1時間以上語れるようになった(笑)

ストリートダンスの歴史

1970年代アメリカの大都市周辺

最近の文化で、作った人がまだご健在。そしてその人の名前が、ステップの名称になっていることが多い。
「Soul Train」

Lockin' (ロックダンス) Poppin' (ポップ) Waacking(ワック) Punkinng'
(パンキンング)Breakin' (ブレイクダンス)などのジャンル

ちなみに・・・ HIP-HOP とは

DJ アフリカ・バンバータが作り出した造語で、「RAP/MC ラップ」「DJ ディージェー」「BREAKIN' ブレイクダンス」
「GRAFFITI グラフィティ」の4つの要素で構築された、創造性を象徴した文化を指す。

1980年後半から世界へ

NewJackSwing(ニュージャックスィング)や HOUSE(ハウス)という新しいジャンルもできた。

現在では、世界中の若者が多くの世界大会などで活躍しています。

日本におけるストリートダンス(続き)

最初に登場したのは、歌「涙のテークアチャンス」で風見慎吾のブレイクダンス
若者に火をつけた。 なんだこのダンスは？と日本でのブレイクダンスの登場だった。

1990年

・TV 番組「DA DA L.M.D」(TV 朝日) ZOO→現在の EXILE へ

・「ダンス・ダンス・ダンス」(フジ TV) TRF

上記2つとも出ました！

・「天才たけしの元気が出るテレビ」の「ダンス甲子園」 LL ブラザーズなど・・・

この時は高校生でなかったので出れなかった・・・

この番組で全国にダンスの認知後上がった。

これいこうは、胸張ってダンスやってますと言えるようになった。市民権を得た番組。

・ダンスブーム到来！

1年半ほどのブームが続き、その後は一つの文化(サブカルチャー)として定着した。

全国に多くのダンススタジオができた。

2000年代～ 習い事の人気上位へ キッズクラス

スーパーキッズたちが誕生

ダンスによる価値観の変化

・バックダンサーへのあこがれ

有名アーティストやテーマパークダンサーなど

・舞台公演

ダンスチーム 舞台での表現

・バトルダンサー(武闘家化している)

ダンススキルの追求 世界大会へ

・ダンスセラピー

正確にはダンスムーブメントセラピー。主に精神的な障害を持つ人を対象にした、ダンスの動きを取り入れた治療法。1940年代にアメリカで始められた。

心と体の相関関係を重視し、ダンスや動作を用いて統合体としての心身の機能回復・向上を目指す治療法・精神障がいや知的障がいを持つ方たち、高齢者などの治療のほかに、ストレスや自己理解を深めるためのワークとしても活用される。

・健康運動としてのダンス

「中等度の強さのダンスは、ウォーキングよりも強く、心血管疾患による死亡のリスクを減少させる可能性がある」米国予防医学会の専門誌「アメリカン・ジャーナル・オブ・プリベンティブ・メディシン」には、ダンスが盛んな英国で、40歳以上の健康な男女4万8390人を調査した論文が掲載されている。

対象者に「最近4週間でダンスをしましたか」また「ウォーキングをしたか」の聞き取り調査が行われた。そして聞き取りのあと数年間を追跡し、心血管疾患による死亡があったかどうか調査した。

その結果、中等度の強さのダンスをしていた人では心血管疾患による死亡率が46%も低くなっていた。中等度のウォーキングをしていた人では、25%低くなっていたという。

「ダンスはがん関連の疲労感の治療に適しており、効果的なアプローチかもしれない」

がんのケアに関する専門誌「サポーターティブ・ケア・イン・キャンサー」には、がん治療を受けている患者40名に対する調査結果が掲載されている。

カウンセリングに加えて5週間で10回のダンスレッスンを受講した患者には、がんによる疲労感、情緒面や身体機能などに明らかな改善効果が見られた。

「岐阜大学 春日 晃章 教授」

アップテンポな音楽を使うことによって、非日常的な速さというものを体験すると。そして音楽に合わせなきゃいけない。みんながそれに合わせていくとなると、そのあわせようと努力することがすべてトレーニング効果になっていて、ここにやはりピップホップの秘めたる何かがあるんだなと感じている。

「東京大学 三浦 哲都 助教授」

ピップホップダンスの特徴は、強い(低音の)『ドンドンドン』というビート。こういった音を聴くと、人間には意図せずとも体が動いてしまったり、リズムに乗ってしまったりする性質がある。基本の動作が上下に動く運動なのだが、ひざを曲げると誰でも音楽に乗ることができる。非常に親しみやすい、誰でもできるダンス。

「丸山院長」

左右の足をクロスさせるなど複雑な動きをすることで脳が活発に働き認知症予防に！転倒予防のための足腰の強化にもなるそうです。認知予防の観点からダンスをレクリエーションに取り入れましょう。

・75歳以上の方469名を5年以上調べて、認知症になる確率と、余暇の活動の関係を調べています。

その結果、ダンス0.24倍、チェスなどのゲーム0.26倍、音楽演奏0.31倍、読書0.65倍、ウォーキング0.67倍、水泳0.71倍でダンスが1位だった。

{アルバートアインシュタイン医大調べ}

最後にみんなで、ダンスのトレーニング「アイソレーション」をしました！



セミナー2 ワールドカフェ

テーマ 「一体感のあるサロンづくり」

ファシリテーター

株式会社 柏野経営 柏野真吾氏（NPO 法人百万石ワールドカフェ）

ワールドカフェとは

- ・ワールドカフェとは、アニータ・ブラウンやデビット・アイザックによって生み出されたダイアログの形態である。
- ・ワールドカフェは、あたかも町のカフェにいるようなリラックスできる雰囲気の中でダイアログを行うことで、ナレッジを創発することを狙いとしている。

グランドルール

- 1 人格を否定しない
- 2 全員参加を心がける
- 3 他のメンバーに耳を傾ける
- 4 積極的な発言に心がける
- 5 テーマについて対話する
- 6 結論を無理にまとめる必要はない

始める前のオープニング10分

- 1 模造紙を敷く
- 2 テーブルごとに軽く自己紹介をして、今の気分を語り合います。（今日の参加目的など）
- 3 テーブルホスト(オーナー)を一人決める
- 4 対話を中断するタイミングと合図を決める

3RD 制 各テーブルのホストはそのままテーブルに残り、新たなメンバーとダイアログ情報を共有する。

15分3セットで、出来るだけ違うメンバーでテーブルを囲むといろんな情報を共有できる。

模造紙は、空いているスペースに自分の思いや他の人の思いを書き残すことで

入れ替わったときに共有しやすい。足跡を残す・・・

1R テーマ 「サロンに一体感があるってどういう状態？」

2R テーマ 「一体感がもたらすものとは？」(個人・お客様・サロン)

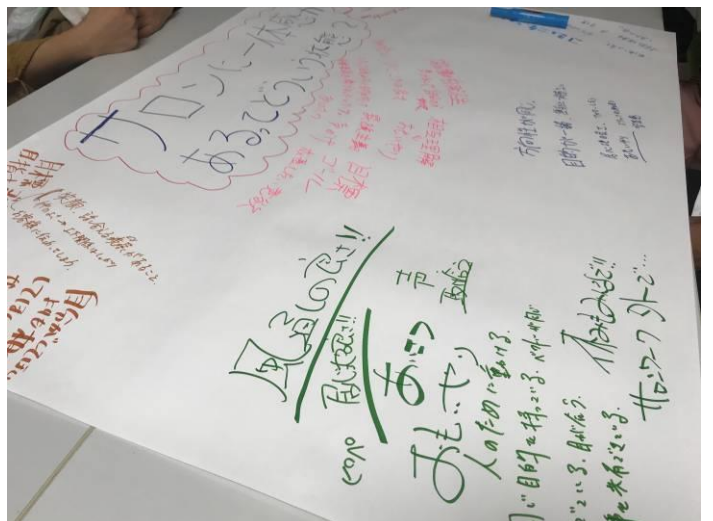
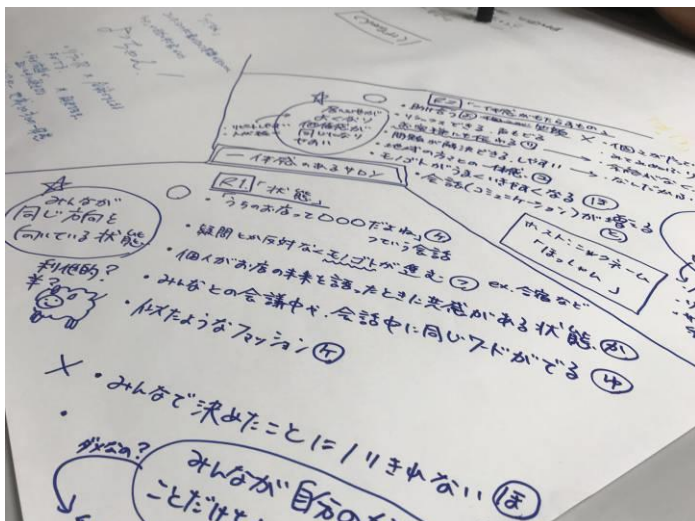
3R テーマ 「サロン全体で一体になるには？」(個人でできること・サロンでできること)

シェアリング「分かち合い」

- ・自分のホームに戻って気づきや思いを発表しましょう。
- ・発表に共感できたメンバーは、拍手等により、その勇気と成果を称賛しましょう。

テーマの設定が大切（①②は考え方を掘り下げる）

- ① 問題定義(状態)
- ② 理想像
- ③ 行動に落とししていく



最後にダンス部の皆さんがダンスを披露してくれました。



そして温泉につかってからの懇親会





以上です。 後半へ続く・・・
ウッディ事務局 向井健介